

サニックスグループとは



サニックスグループの事業領域
数字で見るサニックスグループ
絵で見るサニックスグループ
サニックスグループの事業
サニックスグループの歩み

次世代へ快適な環境を 積み重ねてきた実績をベースに、 サニックスグループの挑戦は続きます。

サニックスグループの事業領域



エネルギー領域

自家消費型、第三者所有型など、太陽光発電システム導入を最適なかたちでご提案。事業者の脱炭素推進をサポートします。

「環境負荷の低いエネルギー」が当たり前の社会

PV

フotovoltaiク事業
(法人向け太陽光発電)

新電力

(電力小売事業)

「快適な住環境を次世代に引き継いでいくのが当たり前の社会」

HS

ホーム・サニテーション事業
(戸建住宅向けサービス)

SE

ソーラー・エンジニアリング事業
(戸建住宅・小規模建物向け太陽光発電)

ES

エスタブリッシュメント・サニテーション事業
(法人・事業主向けサービス)

ERD

環境資源開発事業
(廃棄物リサイクル)

「捨てない」のが当たり前の社会



住環境領域

戸建住宅やビル・マンションのメンテナンスを中心に、衛生管理や災害対策をサポート。世代を超えて受け継がれる住まい、建物を守ります。



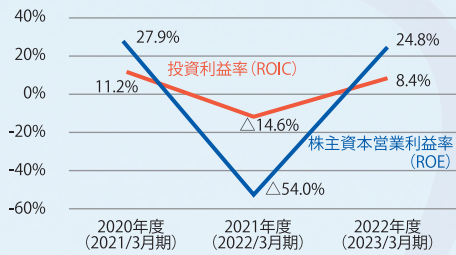
資源循環領域

廃棄物をエネルギー資源として再生・再利用するリサイクルシステムを研究開発・運営。資源循環型社会実現に貢献します。

数字で見るサニックスグループ

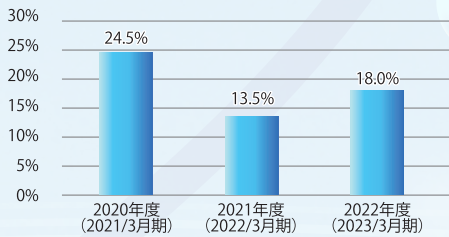
財務指標

自己資本当期純利益率(ROE)/投下資本利益率(ROIC[®])の推移

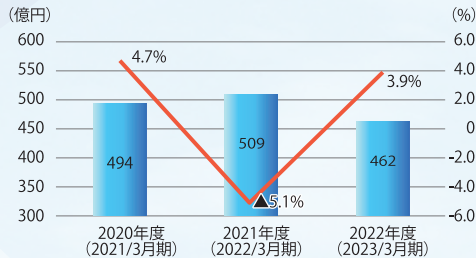


※ROIC=税引後営業利益÷(株主資本+有利子負債)×100

自己資本比率の推移



売上高・営業利益率の推移



主な事業の累計実績 (2023年3月末現在)



シロアリ消毒施工軒数
約 **830,000** 軒



ペストコントロール施工軒数
(事業所向け害虫・害獣防除)
約 **34,000** 軒



給排水管維持管理施工件数
(防錆機器設置等)
約 **38,000** 件



太陽光発電 販売・施工件数
(自社施工分のみ)
約 **49,000** 件
太陽光発電 販売出力(卸販売含む)
約 **1,440,000** kW



プラスチック処理量
約 **5,900,000** t

資源循環型発電

苫小牧発電所 発電量
約 **5,000,000** MWh



廃液処理量
約 **2,500,000** t

事業を通じて、SDGsの達成に貢献します。



絵で見るサニックスグループ

次世代へ快適な環境を。人が暮らし、集う場所に、サニックス。

サニックスグループは、「環境」と「エネルギー」の仕事を通じて、地球環境を守りながら、人が快適に暮らせる社会づくりに取り組んでいます。



廃プラスチックリサイクル & 発電

廃プラスチックを燃料に。
世界にも類を見ない発電所で、
CO₂フリーエネルギーを生成。

P39

各種施設の設備保全 & 衛生管理

ビル・マンションの設備保全から、
食品工場、飲食店、ホテル、病院等
の衛生管理まで、サポート。

P33

廃液の浄化 & リサイクル

国内最大級の処理施設で、廃液を
浄化処理。脱水汚泥や油分の燃料
化リサイクルも推進。

P40

太陽光発電（住宅用・事業用）

製造・調達から販売、施工、メンテナンスまでの一貫サポートで、国内有数の設置実績。

P33
p36

CSR でスポーツ・文化国際交流

次世代の世界平和にもつながる、ユース世代のスポーツを通じた国際交流等の実施を支援。

P52

一般住宅の維持・管理

トータルメンテナンスで、住宅の寿命を伸ばす。45年以上にわたる、シロアリ防除実績は80万軒超。

P33

電力小売

太陽光発電事業とのシナジー効果により、幅広いサービスの提供を可能に。

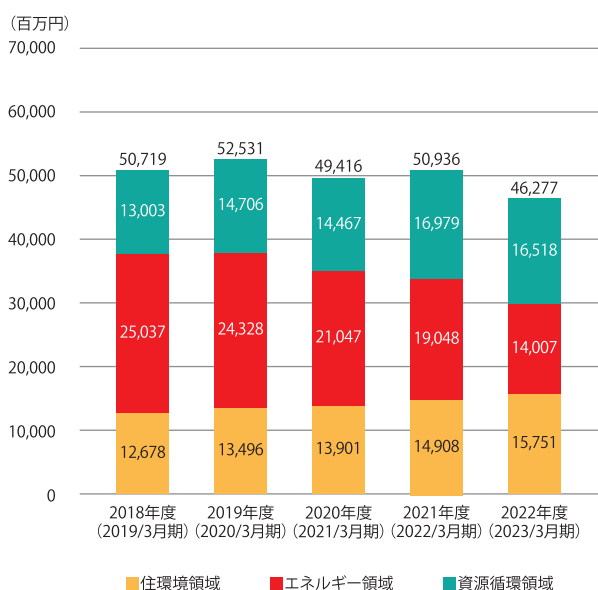
P36

サニックスグループの事業

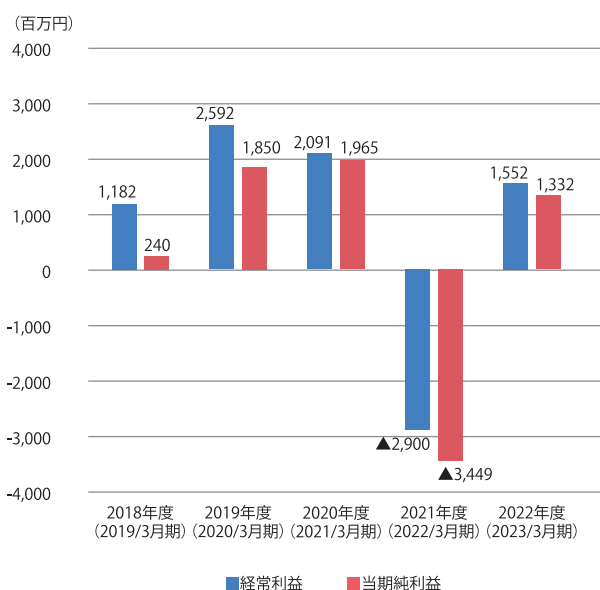
今、環境問題への取り組みは、世界的規模で重要課題として位置づけられています。サニックスグループは、長年にわたって、次世代につなぐ環境づくりに取り組んできた企業として、持続可能な社会の実現に寄与すべく、成長を図りながら、事業展開してまいりました。

2022年度は、ロシア・ウクライナ情勢の長期化による資源・エネルギー価格の高騰や、円安進行に伴う物価上昇など、依然として先行き不透明な状況で推移しました。当社グループは、各事業基盤の強化・拡大を図るとともに、急激に変化する市場環境により柔軟に対応するため、2022年6月に事業部門の組織改編を実施しました。事業間シナジーの追求による成長促進を図ります。

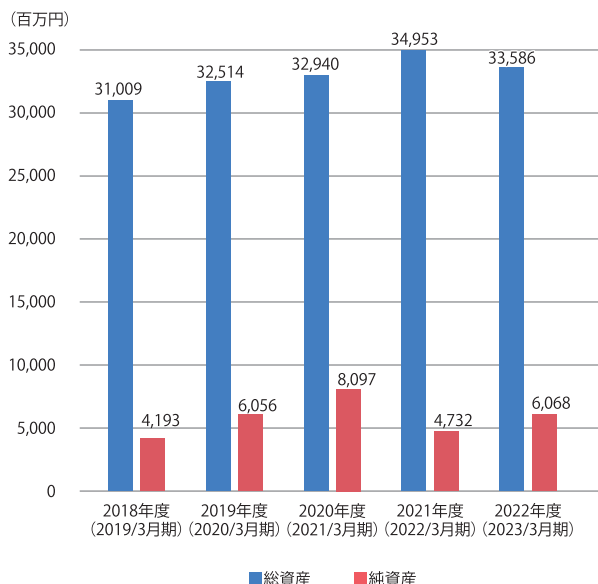
事業領域別売上高



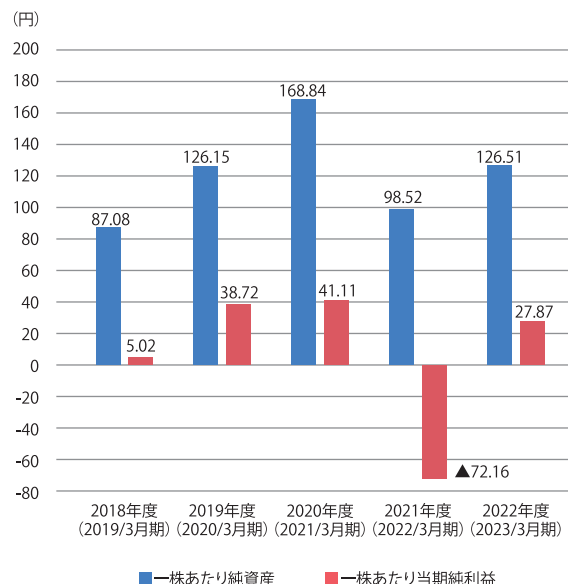
経常利益・当期純利益



総資産・純資産



一株あたり純資産・一株あたり当期純利益



主な事業のご紹介

■ 住環境領域

HS

Home Sanitation

ホーム・サニテーション事業
(戸建住宅向けサービス)



- シロアリ防除システム
- 床下・天井裏換気システム
- 基礎補修工事
- 家屋補強システム
- 住まいのリフォーム など



ES

Establishment Sanitation

エスタブリッシュメント・サニテーション事業
(法人・事業主向けサービス)



- ビル・マンションの給排水設備の保全対策
- ビル・マンションの外壁塗装、屋上防水
- 有害生物の防除 (ペストコントロール) など



SE

Solar Engineering

ソーラー・エンジニアリング事業
(戸建住宅・小規模建物向け太陽光発電)



- 太陽光発電システム
- 蓄電池システム など



■ エネルギー領域

PV

Photovoltaic

フォトルタイク事業
(法人向け太陽光発電)



- 太陽光発電システム
- O & M (メンテナンス)
- 蓄電池システム など



新電力

電力小売事業



- 電力小売 (事業所向け・家庭向け)



■ 資源循環領域

ERD

Environmental Resources Development

環境資源開発事業
(廃棄物リサイクル)



- 廃プラスチックの燃料化
- 資源循環型発電システム (廃プラスチック再生燃料による発電)
- 廃液の浄化・リサイクル
- 廃棄物業務一元管理システム販売 など



サニックスグループの歩み

サニックスグループは、産業として確立したアメリカの環境衛生ビジネスに触れた宗政伸一（前社長）が、その必要性・将来性を確信し、創業したことに端を発します。シロアリ防除からスタートし、時代のニーズに応えるかたちで、産業廃棄物のリサイクル、太陽光発電事業と、業容を拡大。住宅から都市空間、地球環境へと、事業の対象領域を広げてきました。

私たちが追求する「持続可能な社会づくり」は、いまや、世界の共通認識として、重要視されています。企業理念「次世代へ快適な環境を」のもと、大きく広がるフィールドで、サニックスグループは、社会の課題解決を図りながら成長します。

事業規模(2023年3月末日現在/連結)

売上高(2023年3月期)

462 億円

従業員数

2,054 人

拠点数

150 拠点

東京証券取引所
市場第一部上場

日本証券業協会に
株式を店頭登録

産業廃棄物
処理事業開始

CI導入でサニックス誕生
コーポレートスローガン
「FOR SANITARY AMENITY」
総合環境衛生管理企業へ

102億

売上高推移

創業

1975年度

1980

1985

1990

1995

2000

1975年 創業

1975年(昭和50年) 三洋消毒株式会社創業

シロアリが発生してから消毒するのが一般的だった業界において、「予防医学」の考え方を前面に打ち出し、潜在的需要を掘り起こしていった。



1978年(昭和53年) 設立(三洋消毒株式会社)

1981年(昭和56年) 法人向けの環境衛生部門を シロアリ部門と分離

1980年代 消毒業からの脱皮

1982年(昭和57年) 総合研修センター及び研究 所開設(福岡県)

「不潔なところを清潔に、汚いところをきれいにする仕事だからこそ、高い使命感と専門知識が求められる」と、古くから社員教育に注力。

1987年(昭和62年) 株式会社サニックス発足

社名を変更し、快適な環境を創造する「トータルサンテーション企業」へ事業を再構築。

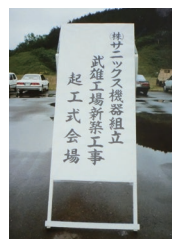


1989年(平成元年) 太陽電池を動力源とする 床下換気扇の発売を開始

1990年代 産業廃棄物処理事業を開始し、地球環境を視野に

1991年(平成3年) 機器製造工場を開設(佐賀 県武雄市)

お客様のニーズに応える製品づくりに向け、自社工場設置。



1994年(平成6年) 産業廃棄物処理業に進出

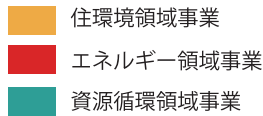
法人向けの衛生管理事業において、取引先のニーズをつかんだことをきっかけとして、処理工場を新設。「今後は、廃棄物を浄化する静脈産業が重要になる」。

1998年(平成10年) 薬剤製造の武雄B工場設置 100%出資子会社(株)サンエ イムが運営。

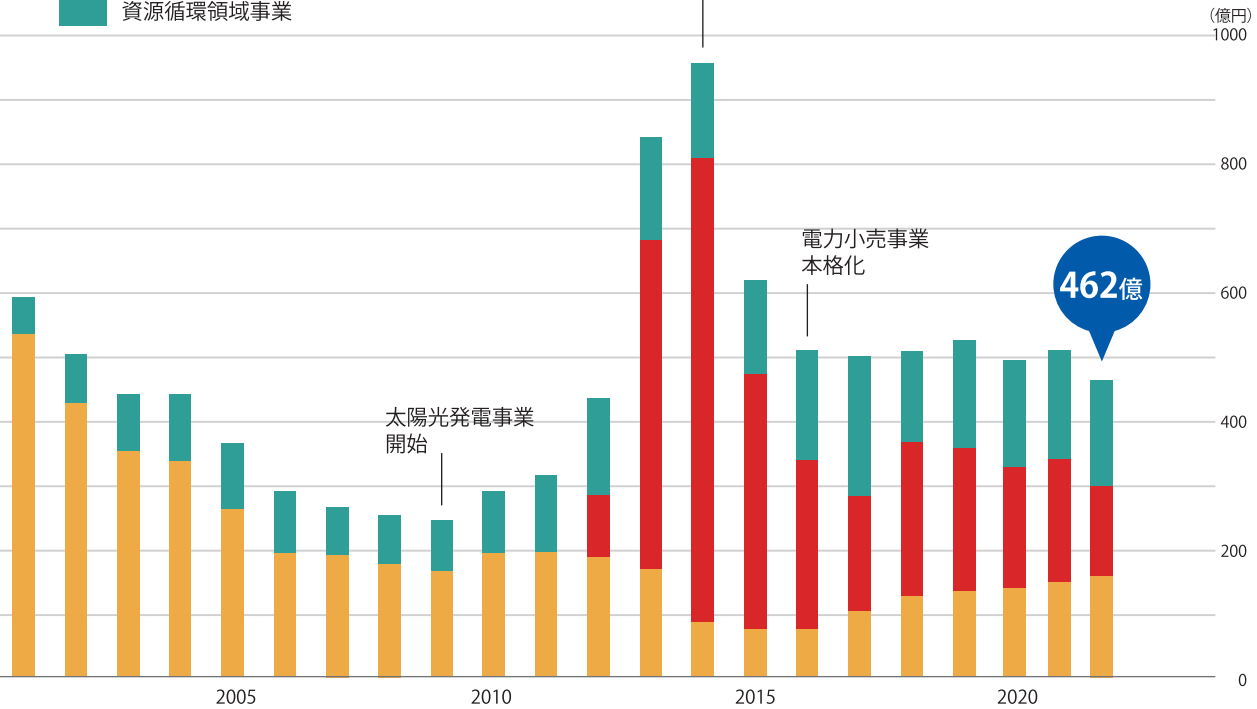
1999年(平成11年) 廃プラスチックの 燃料化事業開始

廃棄物の焼却処理を行う中で、プラスチックの燃焼カローリーの高さに注目。単純焼却・埋め立てされているプラスチックを燃料として再生する事業をスタート。





コーポレートスローガンを「for Energy for Environment」に変更。「環境とエネルギー」の会社へ。



2000年代 資源循環型発電事業によりエネルギー分野参入

2010年～ 太陽光発電事業が加わり、「環境・エネルギー」企業へ

2000年(平成12年)
有機廃液処理業開始
ロンドン・ダンピング条約による海洋投棄禁止をにらむ。



2001年(平成13年)
サーマルリサイクル運営の(株)サニックスエナジー設立
廃プラスチックのリサイクル燃料による火力発電所の建設を開始。運営会社となる、100%出資子会社を設立。

特定規模電気事業者登録
電力事業参入を見据え、全国で8番目の申請。

2003年(平成15年)
サニックスエナジー 苫小牧発電所竣工
廃プラスチック由来の燃料による発電。以後、課題を一つずつクリアし、ノウハウを積んだ。



2009年(平成21年)
最終処分場運営の(株)ホクハイ・(株)C&Rを買収
廃プラスチックの燃料化から、発電、焼却灰処分まで。グループ内一貫体制が確立。

太陽光発電事業を開始
太陽光発電の普及拡大に向けて、「いいものをより安く」。

2010年(平成22年)
(株)北海道サニックス環境を設立
(株)サニックス 苫小牧工場(廃プラスチックの燃料化)を、子会社として分離。

ソーラーパネル製造・販売の子会社を上海市に設立
善日(上海)能源科技有限公司(100%出資子会社)。ソーラーパネルの自社生産を開始し、製造から販売、施工、メンテナンスまで、一貫体制を確立。



2014年(平成26年)
電力小売を行う、(株)S E ウィングズを設立

2015年(平成27年)
登録小売電気事業者登録

2016年(平成28年)
電力小売事業に本格参入
電力小売完全自由化を受け、(株)サニックス本体での電力小売事業を本格化。

2017年(平成29年)～
VPP構築実証事業に参画
2017年以降、毎年、経済産業省「需要家側エネルギーリソースを活用したバーチャルパワープラント構築実証事業」参画。

2018年(平成30年)
廃液浄化処理事業において再生油製造事業を開始
2021年(令和3年)、北九州市が、環境負荷の低い製品・サービスを選定する「北九州エコプレミアム」に。